

医療機関の働き方改革セミナー

令和4年2月28日（月）オンライン開催

ナッジを用いた取り組み 〈看護師編〉

国立研究開発法人
国立がん研究センター中央病院

看護部 看護師長/集中ケア認定看護師 大矢綾



National Cancer Center Hospital

All Activities for Cancer Patients

MISSION

社会と協働し全ての国民に
最適ながん医療を提供する

VISION

一人一人の患者さんに最適な
世界最高レベルの医療を提供する

VALUE

がん専門病院として
安全で高度な医療を提供する

患者さんとともにがんの
新しい診断・治療法を開発する

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院

東京



中央区

578床



病床数



390人



671人

職員数

臨床研究
中核病院



年間5100件



手術件数

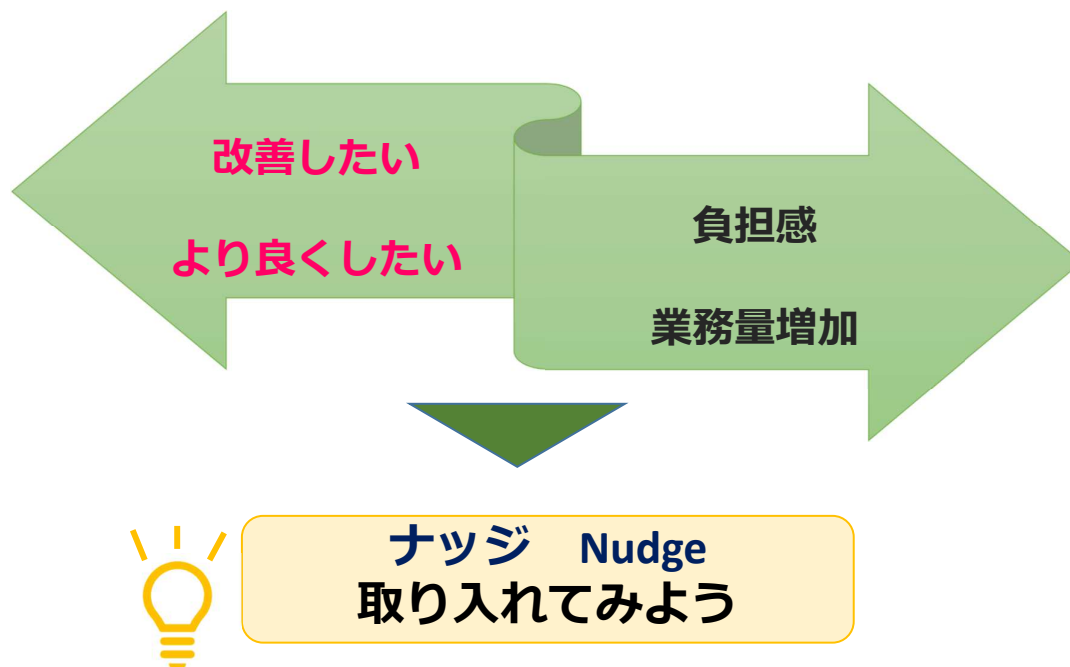
1日1500人



外来人数

当施設でのナッジ導入経緯

- 看護管理者や5年目以上の看護師対象に、ベストプラクティス研修（10年以上前より）



2

本日の内容

1. 医療現場におけるナッジの活用事例

Case1 医療安全：薬剤準備確認の精度改善

Case2 感染：防護用品の正しい着用

Case3 教育：新しい技術習得・チャレンジ意欲改善

Case4 他職種連携：カンファレンスの「密」回避

2. ナッジを用いた働き方改革の可能性

3

1. 医療現場における ナツジの活用事例

4

Case1

医療安全に対する活用事例 ～薬剤準備確認を確実に実施するために～

背景

- 院内では薬剤準備時にダブルチェックする薬剤は定められている
- ICUでは生命に直結する薬剤を含め多数の薬剤がある
- ICUでは**すべての薬剤準備時にダブルチェック**を実施


問題

- 薬剤準備時に**ダブルチェック実施しているがインシデント発生**
- インシデントの振り返りを実施し、ダブルチェックの必要性を説明、確認しているが**インシデントは減少しない**

5

ナッジを用いた取り組み

足型設置で自然に体がパソコン画面に向くようにしよう

 **確認に
集中できていない**

足型設置

 **体が
パソコン画面に向く**



ナッジを用いた取り組み

足型デザイン変更で「慣れ」を予防する

2020年11月

2021年6月



足型設置

足型変更

【足型設置2020年11月】

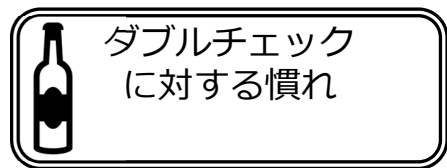
【足型デザイン変更後2021年6月】



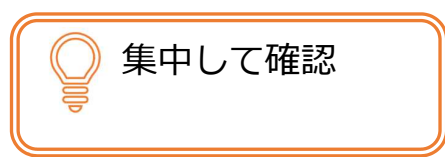
足形配置

足形デザイン変更

ダブルチェック薬剤確認数を減らそう



ダブルチェック
薬剤確認数を減らす



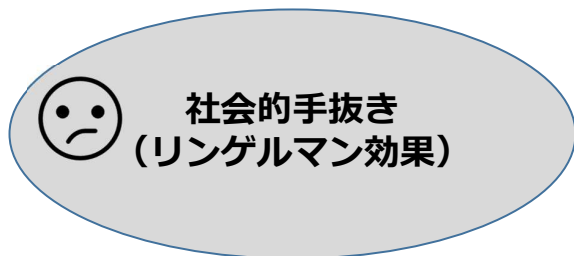
全ての薬剤準備に
ダブルチェック



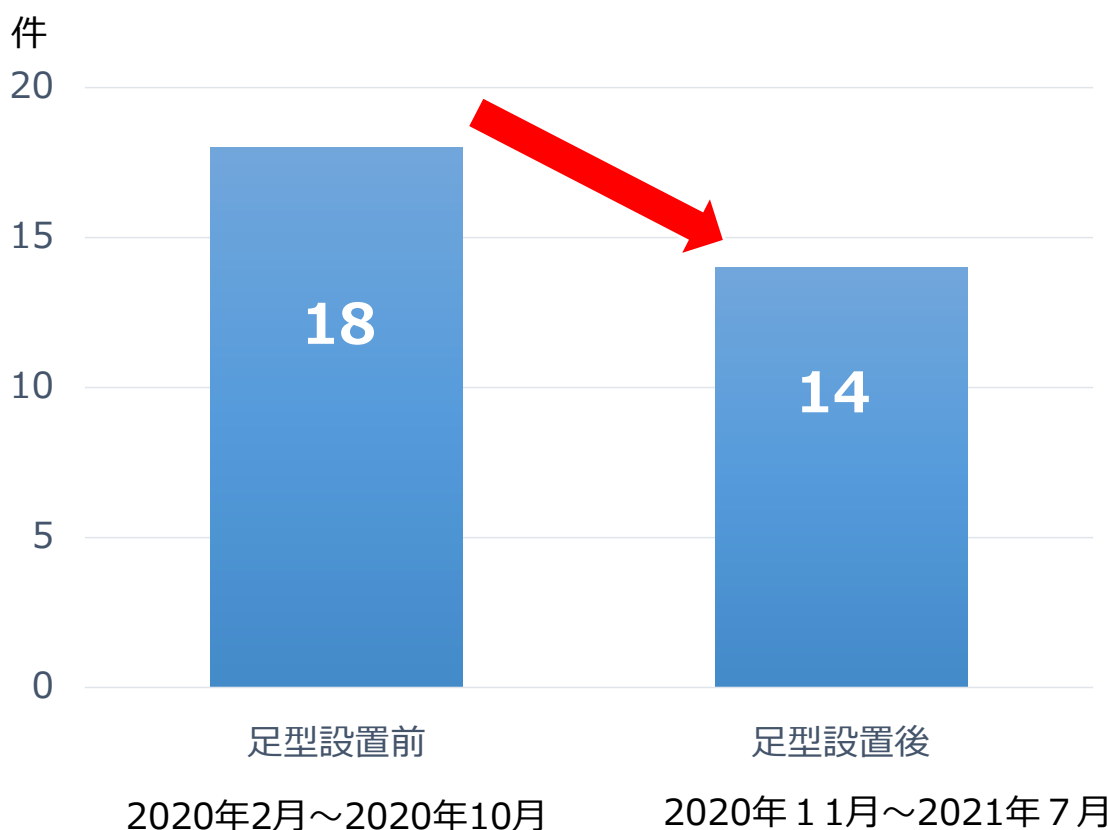
ダブルチェックは
院内規定に沿う



本当に必要な薬剤
のダブルチェック
の精度が向上



薬剤準備確認のインシデント件数が減少



EAST®で「薬剤準備確認」ナッジを振り返る



EASY

- 確認すべき薬剤数を削減
- 足形を設置して**確認しやすい姿勢に誘導**



SOCIAL

- 足形に立っている時は**薬剤確認に全集中**



ATTRACTIVE

- 定期的な足型デザイン変更で注目度の維持

10

Case2

感染対策に対する活用事例 ～正しく感染防護用品を着用するために～

背景

- COVID-19感染流行により、**感染防護用品を正しく着用する必要がある**
- 医療者の配置ローテーションにより定期的な人員変更がある

問題

- 勉強会やその場で指導するが習得が難しい
- 感染防護用品が変更されるため複雑
- **全員が正しく装着できない、時間がかかる**



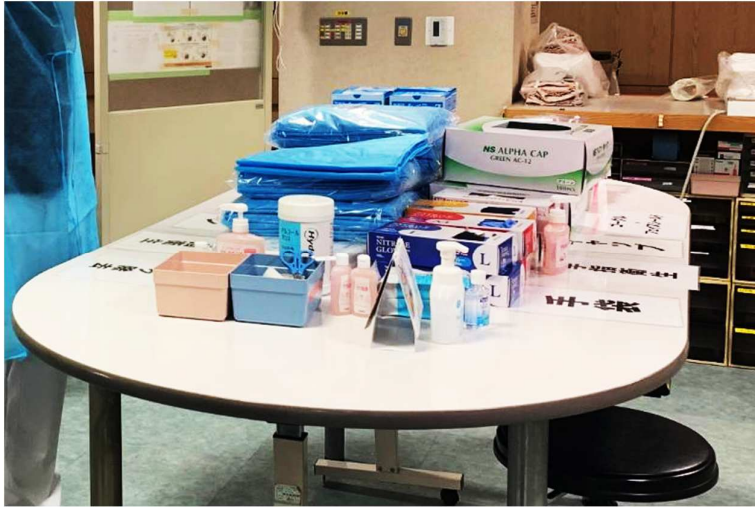
感染防護用品
着用手順の複雑さ

11

ナッジを用いた取り組み

テーブルを一周回るだけで

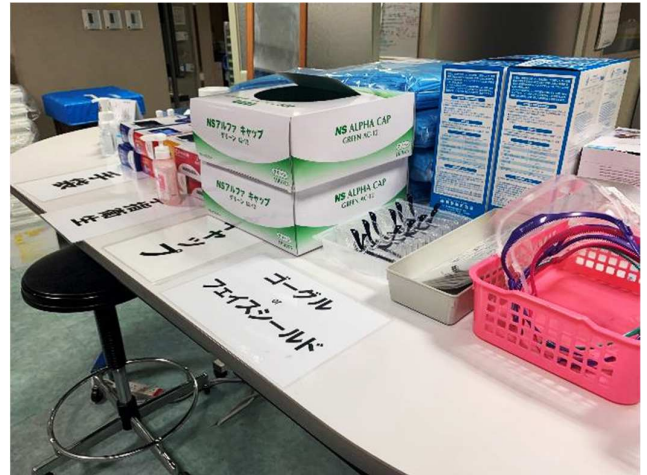
誰もが自然に正しく装着できるようにしよう！



テーブルに防護用品を
着用順に配置



防護用品の着用順番が
一目瞭然



防護用品名を
パウチにして表示

12

ナッジを用いた取り組み

テーブルを一周回るだけで正しい装着が完了！



START



FINISH

13

EAST®で「感染防護用品着用」ナッジを振り返る

EASY



- **着用順番を正確に覚えてなくともよい**
- テーブルを順に回るだけで**自然に正しく着用**できている
- **足りない物品の不足が一目でわかり**誰でも補充できる



TIMELY

- 備品が変更されても**業務が増えない**

14

Case3

教育に対する活用事例 ～新しい技術習得・チャレンジ意欲を高めるために～

背景

- ICUでは習得する技術が多い
- 緊急入室や時間切迫のある状況下で、**新しい技術を実践しながら習得することに、心理的不安がある**

問題

- **新人看護師の技術自立がすすまない**
- 指導者によって**指導方法や支援状況が異なる**

問題が複雑だな...
ナッジ設計のプロセスを用いてみよう



15

ナッジ設計のプロセスを用いて

事実

知識・技術確認
テストを実施し
合格している

実施タイミングの
一覧表を張り出し
ている

習得したいことを積極
的に伝えない。周りは
支援が必要なのかわか
らない

指導者によって支援
状況が異なる

行動の流れ

1

2

3

4

技術習得

知識習得
・技術練習

実施タイミングを
知る

技術習得希望を
伝える

指導者から支援を
得る

気づき・仮説

知識・技術確認テ
ストまで時間を要
する

・一覧表がみえにくい
・現在の習得状況が分からない

・習得者と指導者の双方がどのように伝
えたらよいか分からない



1. 年間技術習得の一覧では、現状の技術習得の状況が分かりにくい
2. 習得者と支援者が、どのように伝え、支援したらよいかかわら
ずに新しい技術習得の機会を逃している

16

ナッジを用いた取り組み

「実施したい」「実施した」をみんなで共有

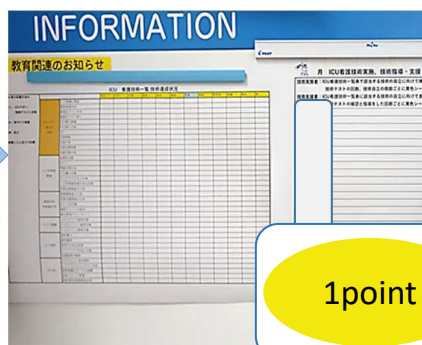
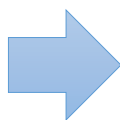
1. 新しい技術習得の実施タイミングを知ろう！

- ①月別の目標を決定
 - ・技術習得期限の提示



習得する技術
進捗状況
が見やすい

- ②ICU看護技術表の統一と整備
 - ・技術習得が必要なスタッフの技術習得状況
 - ・達成状況を「正」→「●シール」へ変更



17

「実施したい」「実施した」をみんなで共有

2. 習得者・支援者が声をかけやすくしよう！

①「スキルアップのためのコミュニケーション」冊子を作成

「技術にチャレンジしたい、支援をしたい」
「技術にチャレンジしづらい、支援しづらい」
と思うコミュニケーションについてスタッフへ調査



声掛けを一覧化



良いコミュニケーションを知り
做うことができる

18

「ICUナーススキルアップのためのコミュニケーション」冊子



NGの例

OKの例

技術を支援する人	技術にチャレンジする人
<p>✗ 「前やったからできるよね？」 「できるでしょう？」</p> <p>↓</p> <p>👏 「見ているからやっごらん！」 「一緒にやってみよう！」 「できると思うからやっごらん！」</p>	<p>✗ 準備状況の表出がない</p> <p>↓</p> <p>👏 「ナーススキル(又はマニュアル)を読んだので見てください！」 「技術練習したのでみてください！」 「前は～までできました。今回は～の部分できるようにしたいです」</p>
<p>💡 前に行っていたとしても、技術にチャレンジする人にとっては不安を抱えている場合があります。 “できないところはフォローするから最後までやってみよう”という姿勢で関わることで、技術に集中し自立できるためにはどうするかを考え始めることができます。</p>	<p>💡 何がどこまで準備できているかを具体的に伝えることで支援者も必要に応じて対応しやすくなります。 どうしても不安なときは、「自信がないのでサポートをお願いできますか？」と相談してみましよう。</p>

声掛けポイント

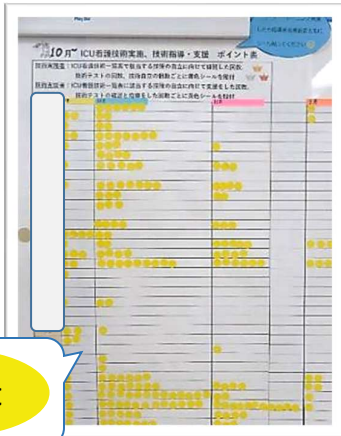
見開きにすることで互いの考えがみえる
アイコン使用しシンプルに見えやすく

③

「実施したい」「実施した」をみんなで共有

②新たな技術習得したスタッフと支援したスタッフのモチベーションを高める！

- ・ 技術習得一覧表に ● シールをつける
- ・ 月間一位にメダルを授与



1point



終礼で授与

新人看護師の技術自立数が増加



取り組み開始

— 技術自立数

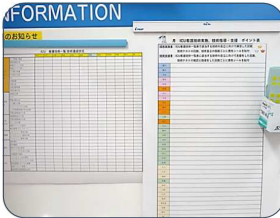
ICU新人看護師：5人

EAST®で「チャレンジ促進」ナッジを振り返る



EASY

- 良いコミュニケーションの例に倣うだけ
- 習得する側、支援する側の考えが分かる



TIMELY/SOICAL

- 一覧表に期限を設けたことで現在の状況を確認できる



ATTRACTIVE/SOICAL

- ● シール習得の月間一位にメダル授与
- 技術獲得した側も 支援する側も称賛が得られる

22

Case4

多職種連携に活用事例 ～コロナ禍のカンファレンスの「密」を避ける～

背景

- ICU入室患者のカンファレンスを毎朝多職種で実施
- COVID-19感染状況により、**密をさける必要がある**
- カンファレンス人数制限について医師へお知らせを実施

問題

- お知らせを出したが人数制限が守られていない
- **カンファレンスの「密」が続いている**

23

足型デザインの工夫で待ち時間も楽しい

1. 足型を参加人数分のみ設置
2. 動物の足型デザインを設置



先輩の先生方が参加している
んだから、自分も参加しなく
ちゃいけないよな...

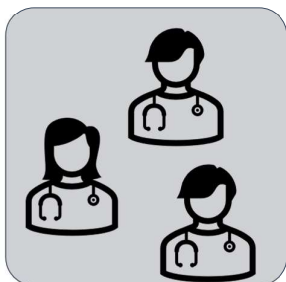


参加人数が明確



無言の同調圧力

EAST®で「密を避ける」ナッジを振り返る



EASY/SOICAL

- 参加できる人数が一目瞭然
- 先輩の目を気にして無理に参加する気遣いがなくなる
- みんなが並んでいる



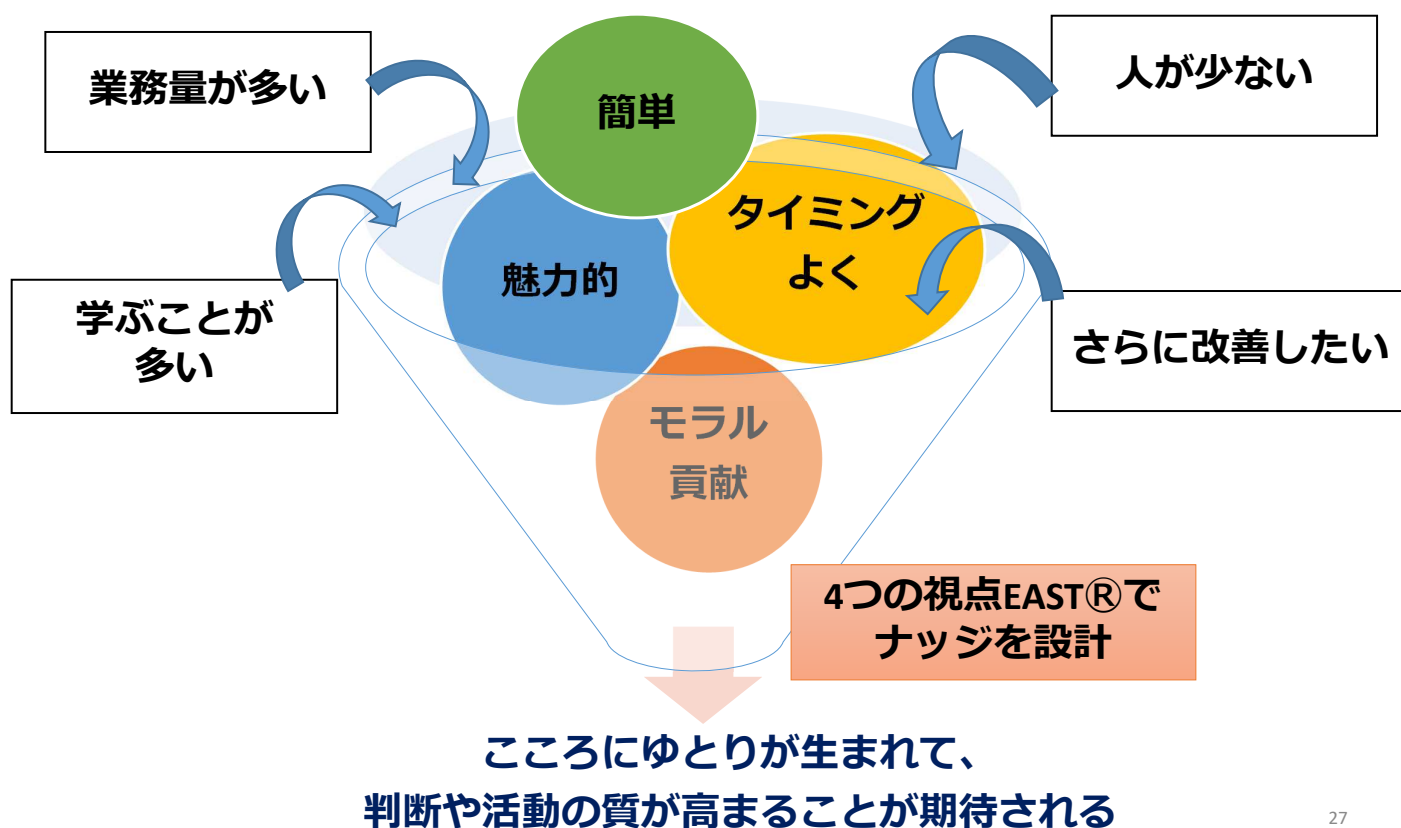
ATTRACTIVE

- 動物の足型は見慣れていない（専門分野外）
- 待っている間も楽しい

2. ナッジを用いた働き方改革の可能性

26

負担の少ない業務設計・環境設計をして
自然に「よりよい行動」がとれるよう後押しする



27

ご清聴ありがとうございました



National Cancer Center Hospital